

【様式2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	北九州市
取組市町村名 取組団体・企業名	北九州市 (保健福祉局・子ども家庭局・産業経済局・教育委員会・食育関係団体)
取組の名称	食育キャンペーン2019啓発イベント「毎日プラス一皿の野菜」
実施時期	令和元年8月20日(火) 11:00~15:00
取組内容	<p>【目的】 野菜を食べることをきっかけとして、市民が食育に関心を持ち、食に対する理解を深め、望ましい食習慣を習得・実践することを目指す。</p> <p>【場所】 イオン戸畑ショッピングセンター2階 よいとさ広場</p> <p>【参加者数】 延べ2,017人</p> <p>【実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はてな?ボックス(野菜当てクイズ) ・野菜の計量クイズ ・野菜ハンコでうちわ作り ・おはしで豆運びゲーム ・食育SATシステムによる栄養診断 ・栄養相談 ・きのこもぎ体験 ・牛乳試飲 ・体組成測定、血管年齢測定、骨密度測定 ・フードモデル展示、リーフレット配布 <p>【協力団体】(北九州市食育推進ネットワーク会員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イオン九州㈱ ・北九州タニタ食堂 ・北九州ヤクルト販売㈱ ・北九州青果㈱ ・福岡県栄養士会 ・南日本酪農協同㈱ ・北九州市食生活改善推進員協議会 <p>【実施の様子】</p> 

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	北九州市
取組市町村名 取組団体・企業名	八幡西区
取組の名称	健康づくり応援事業「もりもりキッズ」
実施時期	令和元年8月～12月
取組内容	<p>食を通して生活習慣病の理解を深め、幼児期からの正しい生活習慣の獲得が、子どもの健やかな発育・発達を促し、将来的な生活習慣病予防にもつながっていくことについての知識の普及と正しい生活習慣の定着することを目的とする。</p> <p>事業の一部を北九州市八幡西区食生活改善推進員協議会に委託して実施。</p> <p>①もりもりキッズ～食育講座～ 【内容】 栄養士による食育講話と幼児食の実演および試食 【日程】 令和元年8月～令和2年3月 (期間中8回実施予定 12月までに5回実施) 【会場】 八幡西区内市民センター等 【対象者】 育児サークル・フリースペース参加者(未就学児とその保護者) 【参加人数(延べ)】 140名(内訳:保護者54名、子ども59名、その他27名)</p> <p>②もりもりキッズ～親子で学ぼうヘルシーバイキング～ 【内容】 栄養士による食育講話とバイキング形式の試食 【日程】 令和元年12月21日(土) 【対象者】 小学生とその保護者 【参加人数】 小学生12名 保護者16名</p>
	   

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	北九州市
取組市町村名 取組団体・企業名	小倉北区 社会福祉法人正勇会 北九州ソレイユ保育園
取組の名称	夏野菜のピザ作り
実施時期	令和元年8月20日
取組内容	<p>対象年齢：2・3・4・5歳児（81名） 目的：園の菜園で収穫した夏野菜を使ってクッキングを楽しむ。 自分で作った物を食べる楽しさや嬉しさを味わう。</p> <p><取組み内容></p> <p>園で毎年栽培している夏野菜（ピーマン・ナス・トマト・オクラ）を使って何か作れないかという思いから、今年初めてピザ作りを行いました。</p> <p>ピザ作りをすることを決めてから、生地・食材を何にするか、工程はどうするか等話し合いを行いました。生地は餃子の皮を使うことにし、4クラス行うので、材料はあらかじめ小さく切り、準備しました。また、自分で作った物が分かるように、クッキングシートにそれぞれ名前を書きました。</p> <p style="text-align: center;">*材料・・・園で収穫した夏野菜（トマト・ピーマン・オクラ・ナス） 餃子の皮、チーズ、ウィンナー、ピザソース</p> <p>当日は、全体での説明後、1クラスずつクッキングを行いました。4グループに分かれ、グループ毎に材料を用意して、好みにトッピングできるようにしました。何をのせようか悩みながら、好きな物をのせたり、山盛りにトッピングしたり、楽しみながら作る姿が見られました。また、それぞれに保育士が付くことで、援助したり会話を楽しんだりしながら料理することができました。</p> <p>午前の活動でピザを作り、調理室の冷蔵庫に保管してもらい、午後のおやつ焼いてもらい食べました。「自分で作ったからおいしい!」「うま〜い!」と、とても嬉しそうに食べる姿が見られ、来年もまたピザ作りを行いたいと思いました。</p>
	  

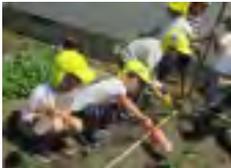
②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	北九州市
取組市町村名 取組団体・企業名	小倉南区 社会福祉法人正勇会 曾根ソレイユ保育園
取組の名称	「卵」の性質を知り、「マヨネーズ」を作ってみよう
実施時期	令和元年8月30日(金)
取組内容	<p>【対象】4・5歳児 縦割り保育にて実施</p> <p>「卵」は「乳化性」・「凝固性」・「泡立性」などの性質の違いにより、身近にある料理の形がそれぞれ変わっていく事に着目します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>クッキングの事前導入の様子(5歳児)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>卵の性質について</p> </div> </div> <p><クッキング></p> <p>事前導入だけでは想像しにくい卵の「乳化性」にポイントを絞り「卵」と「油」・「酢」を混ぜると「マヨネーズ」になる事を保育士が実演し、知ります。</p> <p>子どもたちは声も出さずに真剣にマヨネーズになる過程を観察する姿が見られ、出来上がると「うわあ！」と歓声があがります。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">   </div> <div style="text-align: center;"> <p>【クッキングの様子】</p> <p>完成したマヨネーズを使用してマカロニサラダを作りました。子どもたちは、材料とマヨネーズを入れたボールを混ぜる工程を行いました。</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>【掲示の様子】</p> <p>作り方をクッキングの写真とともに掲示すると翌日から「またつくったよ！」という声が聞かれました。</p> </div> </div> <p>手作りマヨネーズを使い「マカロニサラダ」を作り、当日の給食の一品に加えます。</p> <p>「仲の悪い水と油を仲直りさせるのが卵だね」など会話の中に見られます。</p> <p>クッキング後にも作り方や子どもの様子を掲示し、保育の「見える化」を意識します。</p>

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	北九州市
取組市町村名 取組団体・企業名	若松区 社会福祉法人芙蓉会 大鳥居保育園
取組の名称	「ままごとあそびで食育！」(1歳児) ～ 食事に関心をもとう ～
実施時期	令和元年4月～12月
取組内容	<p>《取り組みのきっかけ》</p> <p>◎1歳児クラスとしての活動も後期になり、ままごとあそびも食べ物のおもちゃを出してあそぶという単純なものから、家族など身近な大人の人の真似をして、食事を作ったり、並べたり、食べる真似をしたり、友達同士で簡単な言葉のやり取りをしながらあそびを楽しむ姿がみられるようになってきています。「食事を作る真似」を楽しむままごと遊びを通してさらに食事への関心を上げられるとよいと思いました。</p> <p>《取り組み》</p> <p>① ままごと用のおもちゃを「調理器具」「食器」「食べ物」に大まかに分けます。</p> <p>② それぞれの思いのまま自由にあそびを展開していきます。</p>  <p>《考察》</p> <p>・月齢の低い子どもは、お皿に食べ物を盛り付けて遊ぶ姿が多いですが、月齢が上がるにつれ、母親や身近な大人の姿を忠実にまね、材料を切ったり鍋を火にかけて料理をしたり、料理の途中で調味料を足す姿も見られました。できた料理を保育士に食べさせてくれたり、料理をしたものを誰かに食べてもらう喜びも生活の中で学んでいることがよくわかりました。家庭で育まれる「食育」を保育の現場で生かし、食事に関心をもって喜んで食べる子どもに育てていきたいと思います。</p>

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	北九州市
取組市町村名 取組団体・企業名	八幡西区 社会福祉法人北九州市福祉事業団 永犬丸保育所
取組の名称	おじいちゃんと一緒に！！（芋の苗植えと嬉しい収穫）
実施時期	令和元年11月29日（金）
取組内容	<p>6月始め、地域のおじいちゃんの畑を借りて、さつまいもを植えました。おおきなあれと願いながら植えるみんなの顔は真剣でした。</p> <p>時々、芋の様子を見に行ったり、水やりに行ったりしました。やわらかく小さかった葉がピンとなり力強く伸びる蔓に「先生、おおきくなるとね？」「いつ、芋掘りする？」と子どもたちもワクワク。</p> <p>いよいよ芋ほり！大きく育った芋に大喜び！おじいちゃんのおかげでたくさん収穫することができました。「〇〇さんありがとう」とみんなでお礼を言いました。</p> <p>保育所では、他のクラスの子どもたちにも収穫した芋に興味を持ってもらおうと芋の大きさ当てクイズをしました。一番大きな芋は12キロでした。</p> <p>後日、一緒に芋の栽培をしてくれたおじいちゃんを招待して、芋もちを作りました。自分たちで作った芋もちを「おいしい！」と言って食べている姿がありました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 20px;">    </div> <p>さつまいもの栽培で野菜の生長を観察し、収穫の喜びから食への関心を持たせたのではないかと思います。</p> <p>地域のおじいちゃんに教わり優しさに触れ、みんなでおじいちゃんに感謝しました。とても良い経験になりました。</p>

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	北九州市
取組市町村名 取組団体・企業名	八幡西区 社会福祉法人北九州市福祉事業団 あじさい保育所
取組の名称	絵本「ぐりとぐら」のカステラを作ってみよう
実施時期	令和元年12月
取組内容	<p>3、4、5歳異年齢クラスのほし組は春から絵本「ぐりとぐら」のごっこ遊びを楽しんできました。ぐりとぐらになりきって大きな鍋やフライパンを作っているうちに、「世界一大きなカステラってどうやって作ればいいのかと思う?」「本当に食べられるカステラ作ってみたいね。」という子どもの会話が聞かれるようになりました。</p> <p>12月10日(火)いよいよカステラ作りをすることになりました。 「卵、バター、泡立て器!」と劇ごっこで楽しんだセリフをみんなで言いながら楽しくキッキングです。</p>      <p>ほし組みんなで焼いたカステラは、他のクラスのものにもおすそ分けしました。保育所の中はふんわり甘い香りと笑顔でいっぱいになりました。</p>